

科目名		授業形態	担当教員名	
発達障害治療学 I		講義・演習	笹井 久嗣	
時間数 (単位数)		授業回数	年次	開講時期
30 時間 (1 単位)		15 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
発達障がいを持つ子どもへの作業療法を学ぶ。正常発達の知識を深め、臨床で使われる一般的な評価 (ADL・姿勢運動・上肢機能・感覚・視知覚など) を学ぶ。発達障がいの中でもASD, ダウン症, CP (PVL), MDなどの疾患についても講義を行う。発達障害領域の評価の基本的な考え方を理解することを目的とする。				
授業の到達目標				
1. 発達障害領域における作業療法評価で用いる各種検査を挙げ、説明できる。 2. 発達障害領域の疾患について説明できる。 3. 障がいを持った子どもの姿勢分析ができる。				
授業計画				
回	内容			
1	発達概念について (1)			
2	発達概念について (2)			
3	発達理論について (1)			
4	発達理論について (2)			
5	発達検査について			
6	姿勢反射/反応について			
7	正常運動発達について (1)			
8	正常運動発達について (2)			
9	正常運動発達について (3)			
10	正常運動発達について (4)			
11	脳性マヒ、ダウン症、筋ジストロフィー、二分脊椎、ASD、LDなどについて			
12	脳性マヒ、ダウン症、筋ジストロフィー、二分脊椎、ASD、LDなどについて			
13	神経学的評価について (1)			
14	神経学的評価について (2)			
15	まとめと解説			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	100%			
レポート・課題				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
なし				
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
発達障害の作業療法	上杉 雅之 監修		医歯薬出版株式会社	
イラストで分かる人間発達学	上杉 雅之 監修		医歯薬出版株式会社	
自由記載				
備考				
プリントを配布し、授業を行う。授業毎にリアクションシートの記入を行い、質問などに対して返答していく。授業の理解度を確認する確認問題なども行っていく。				